

経営比較分析表（令和6年度決算）

熊本県上天草市 上天草総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	ド透訓	救急へ災輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
23,592	11,805	-	第1種該当	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
149	46	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	195
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
142	43	185

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和6年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (経営の刷新・ネットワークをきむ)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

信頼される地域医療を病院理念とし、地域のかかりつけ医療も含め、へき地・小児・救急・災害の政策医療を実施、熊本県域における地域に根ざした医療を提供している。さらに、熊本地域との協定に基づき、新興感染症発生時は市内で唯一の入院受入れ先医療機関として近隣の医療機関と連携を行い、地域住民が安心して生活を送ることができるような地域における医療提供体制を構築している。

また、付属施設である健康管理センター、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、在宅・居宅介護支援サフセンター、救急木診療所を有し、医療はもとより予防・介護・在宅までをカバーし、地域住民が住み慣れた地域で暮らせるよう、地域包括ケアシステムを実践しその役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度決算においては人件費増加による経常収支比率の落ち込みがみられるが、令和6年度人事院勧告によるところが大きな要因である。それに伴い、医療収支比率についても令和5年度と比較すると大きな減少となっているが、類似団体平均より高い指標を変わらず維持している。

医療収支は令和6年度診療報酬改定により令和5年度と比較すると入院単価は増加しているものの、病床利用率の低下の影響により入院収益は減少、外来も患者数が減り減収のうえ、前述の人員費の増加により修正医療収益比率は100%を下回った。

物価の高騰により材料費の支出増が想定されたが令和5年度と比較すると減少していた。令和5年度解消した累積欠損金は令和6年度赤字決算により再び発生している。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産及び器械備品減価償却率は類似病院平均値と比べると低い水準で推移しており耐用年数に応じた改修・入替が実施できており地域の状況に応じた医療の質の確保ができていた。

1床あたりの有形固定資産は全国平均を大きく下回っているが地域の実情に応じた医療器械・施設整備を計画的に実施している。

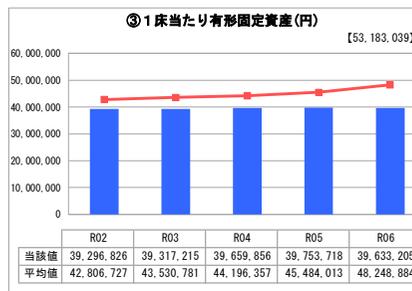
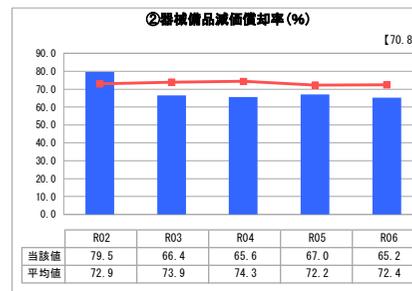
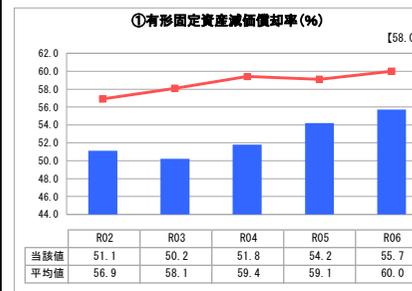
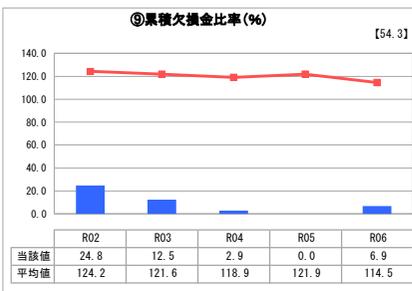
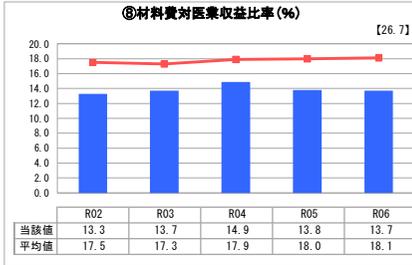
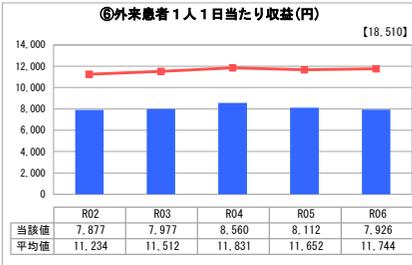
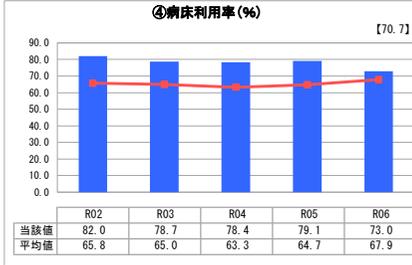
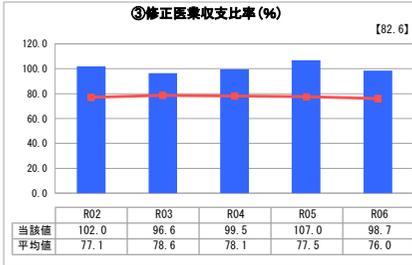
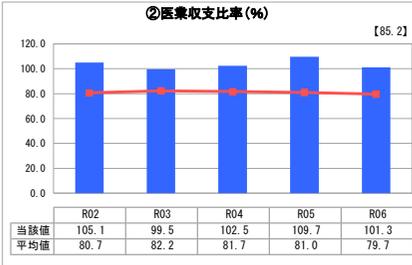
全体総括

令和2年度から令和5年度まで継続していた経常収支赤字も令和6年度決算にて途切れてしまった。主な要因としては人員費の増加による給与費の増加、患者数の減少による入院、外来収益減少が考察できる。物価高騰とそれに伴う人員費の増加による先行きが見えない状況が続く中、持続可能な事業経営を目指すために病床規模を縮小し、急性期から回復期機能を強化した病床形態の変更、病床稼働率の上昇、外科医を中心とした医師確保を課題として引き続き取り組んでいく。

また、現在の場所へ移転して33年が経過し、耐用年数も法定年数に近づきつつある中、安定的な病院経営を行うためには、今後も医療機器・施設設備への投資を行い、安心できる療養環境の整備はもとより、地域医療構想に基づいた経営形態見直しも視野に入れた天草医療圏の実情に応じた経営形態を模索していかねばならない。

今後も信頼される地域医療を経営理念に掲げながら地域住民が安心して生活できる医療提供体制構築を目指していく。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。